

## 2. 播磨地域における 現状・課題と政策目標

# (1) 概要



【 県立赤穂海浜公園】



【 播磨中央公園】



【 東条湖おもちゃ王国】



【 姫路市立動物園】



【三木総合防災公園】



【 姫路城】



【 日岡神社】



【 明石公園】

## 人口・面積等

- 人口 182.9万人(33%)
- 面積 3,594km<sup>2</sup> (43%)
- GDP 74,770億円(34%)
- 域内市町数 13市9町

## 特産品

ブドウ、ウメ、酒米、シイタケ、あゆ、手延べそうめん、しょうゆ、塩、お茶、マッチ、播州織物、こいのぼり、そろばん、つり針、家庭刃物・鎌、木工芸品、皮革、ナット、鉄鋼 等

## 観光

- 観光入込客数 4,267万人
- 主要観光地
  - 姫路城(姫路市) 287万人
  - 明石公園(明石市) 244万人
  - 三木総合防災公園(三木市) 100万人
  - 日岡神社(加古川市) 86万人
  - 姫路市立動物園(姫路市) 76万人



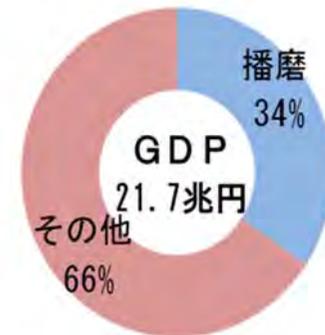


## (2) 現状と課題[播磨地域](経済・産業)

- ◆ 播磨地域のGDPは全県の3割強であり、増加傾向で推移
- ◆ 臨海部、基幹道路周辺に工業団地、物流施設が集積
- ◆ 播磨科学公園都市に「Spring-8」「SACLA」など科学技術拠点が集積



臨海部のものづくり拠点  
や産業の集積を活かした  
産業活性化



【播磨地域のGDPの推移】



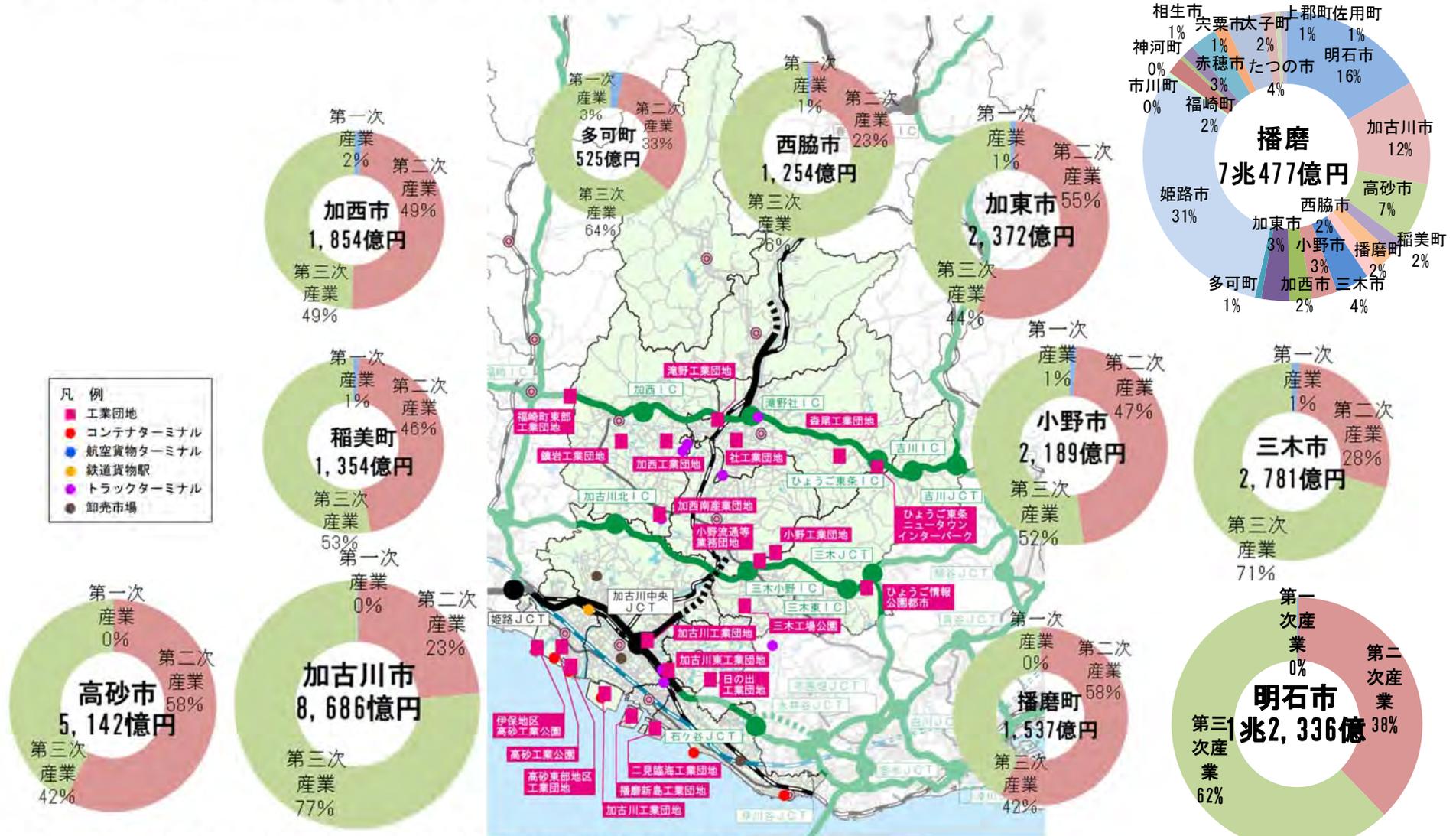
【工場立地件数の推移】



出典: <GDP>兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」(平成27年度 実質:平成17暦年基準 試算値)  
※ただし、市町別産業別内訳は、平成27年度名目別平成17年度基準値

## (2) 現状と課題[東・北播磨地域](経済・産業)

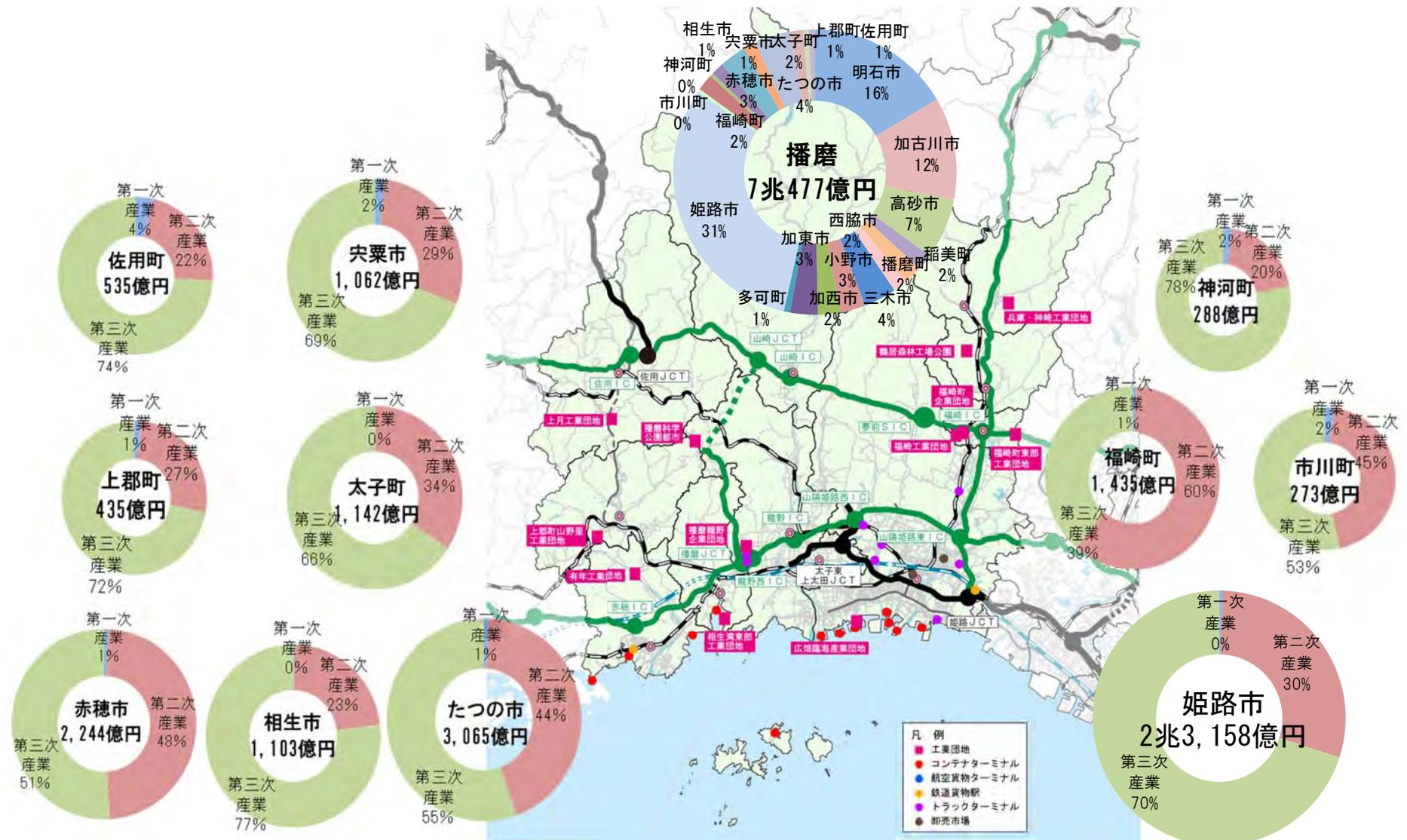
- ◆ 全体的に第2次産業の割合が高く、特に、高砂市、播磨町、加東市では約5割から6割と相対的に高い
- ◆ 東・北播磨では、明石市、加古川市、高砂市のGDPが高い



出典: <GDP> 兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」(平成27年度 実質:平成17暦年基準 試算値)  
 ※ただし、市町別産業別内訳は、平成27年度名目別平成17年度基準値

## (2) 現状と課題[中・西播磨地域](経済・産業)

- ◆ 姫路市のGDPが高く、播磨地域全体の約3割
- ◆ 福崎町、市川町など基幹道路沿いの市町は第2次産業の割合が約5割から6割と相対的に高い



出典: <GDP>兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」(平成27年度 実質:平成17暦年基準 試算値)  
 ※ただし、市町別産業別内訳は、平成27年度名目別平成17年度基準値

## (2) 現状と課題(経済・産業)

- ◆ 臨海部は世界や国内のトップシェアを持つ企業の製造拠点が集積しており、**日本有数のものづくりの拠点**となっている。

- 姫路港（国際拠点港湾）や東播磨港（重要港湾）が整備
- 播磨臨海地域の製造品出荷額は国内主要都市よりも多く、世界や国内の**トップシェアを持つ企業の製造拠点が集積**



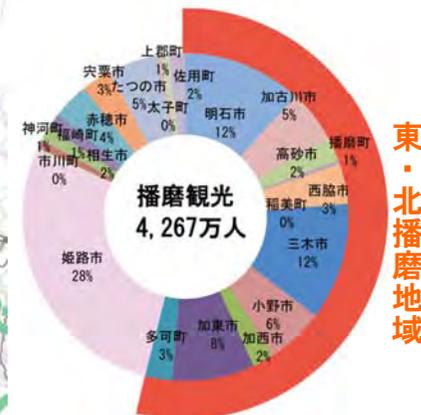
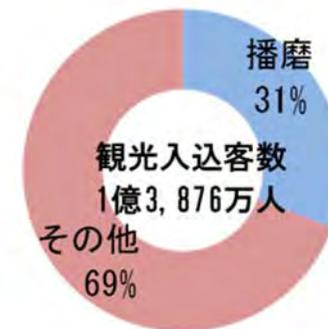
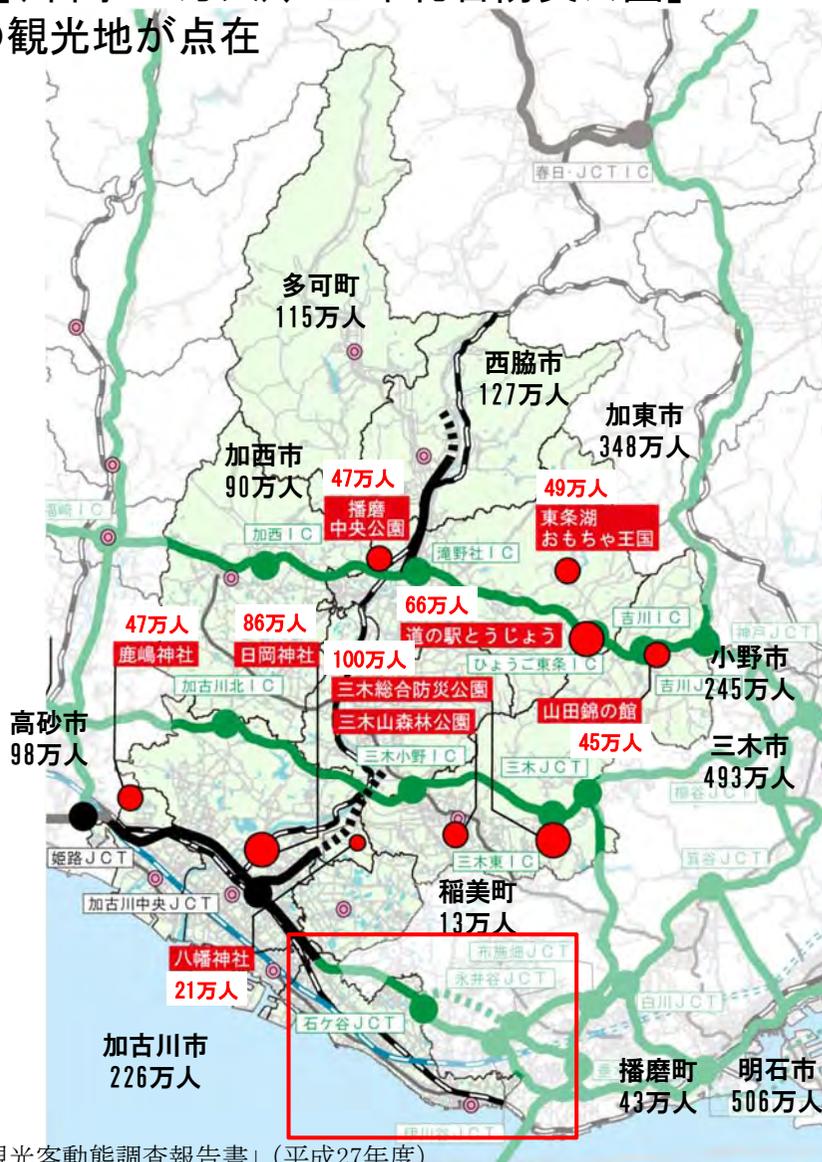
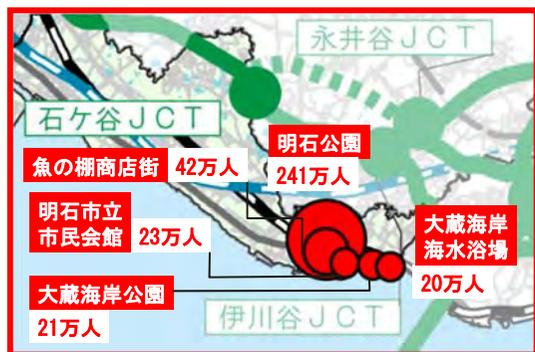
## (2) 現状と課題[東・北播磨地域](観光)

- ◆ 播磨地域への観光客は年間4,000万人強で全県の約3割。近年は増加傾向で推移
- ◆ 東・北播磨では、「明石公園」(年間241万人)、「三木総合防災公園」(年間100万人)などの多くの観光地が点在



周遊性拡大による観光資源を活かした観光振興

【播磨地域の観光入込客数の推移】



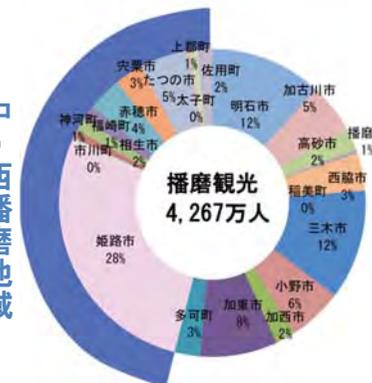
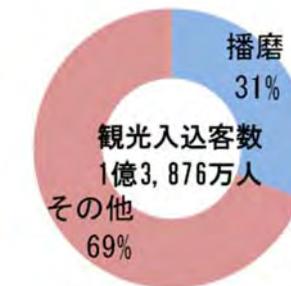
東・北播磨地域

## (2) 現状と課題[中・西播磨地域] (観光)

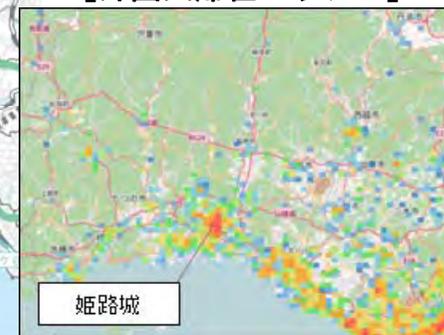
- ◆ 中・西播磨では、世界文化遺産「姫路城」(年間286万人)や「赤穂海浜公園」(年間56万人)、揖保乃糸資料館そうめんの里(年間13万人)、西はりま天文台公園(年間6万人)などの多くの観光地が点在

ひょうごゴールデンルートなどの**広域周遊ルート**を活かした**観光振興**

【播磨地域の観光入込客数の推移】



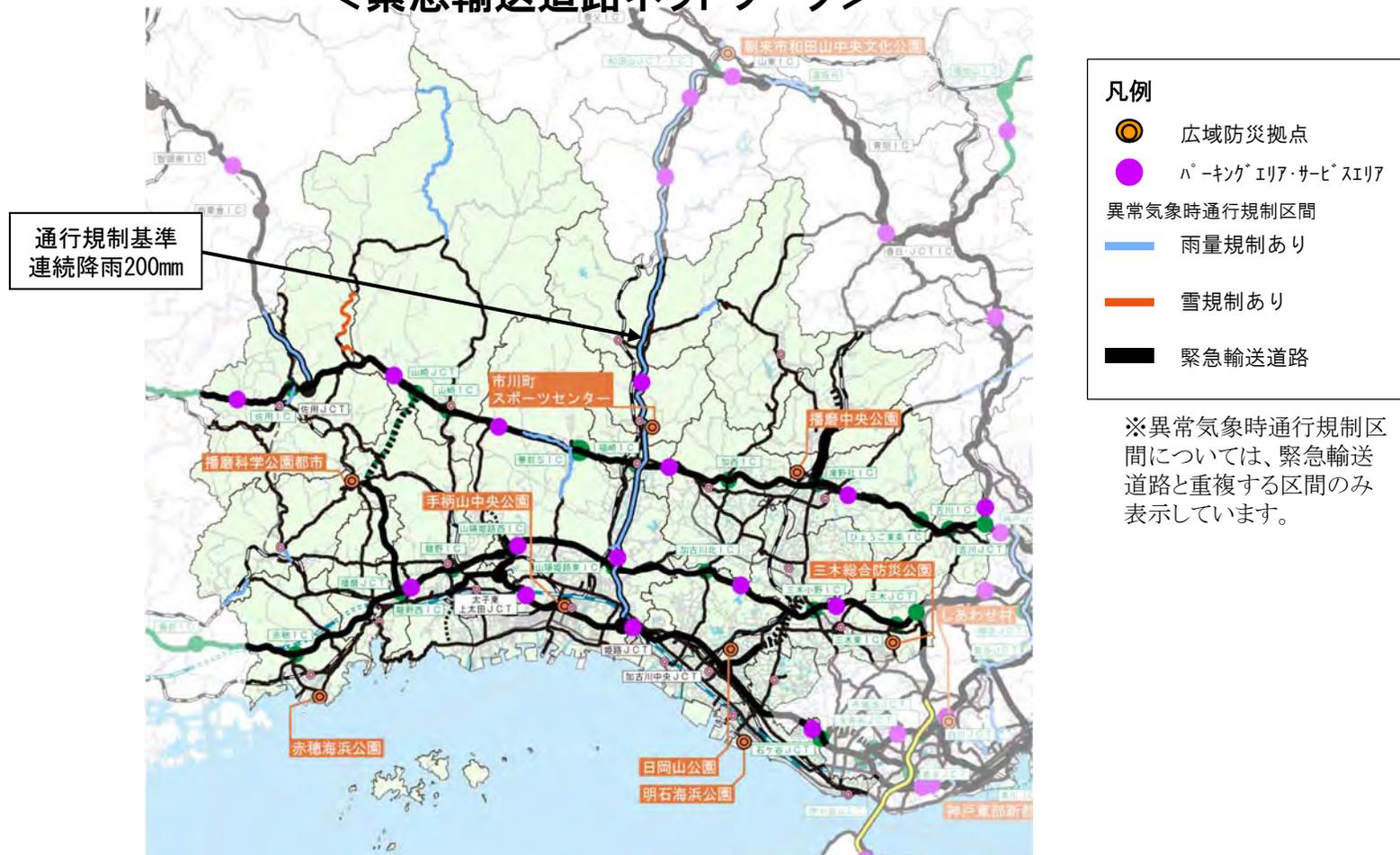
【外国人滞在メッシュ】



## (2) 現状と課題(災害)

- ◆ 地域内に8箇所の広域防災拠点が点在
- ◆ 播但自動車道などが異常気象時通行規制となっているが、緊急輸送道路ネットワークのリダンダンシーは確保

### <緊急輸送道路ネットワーク>



出典: <異常気象時通行規制区間>兵庫県道路企画課  
「H27全国道路・街路交通情勢調査」より、雨量・雪・その他規制区間および冬期通行不可区間を表示

## (2) 現状と課題(災害:南海トラフ地震による浸水想定区域、断層帯)

- ◆ 山崎断層帯が地域内を縦横断している



東西および南北の基幹道路のリダンダンシー確保



出典: <浸水想定区域図>南海トラフ巨大地震津波浸水想定図(兵庫県)

<断層帯>地震調査研究推進本部「兵庫県の地震活動の特徴」

兵庫県「地域の防災道路強靱化プラン」(兵庫県の地震被害想定(内陸型活断層))

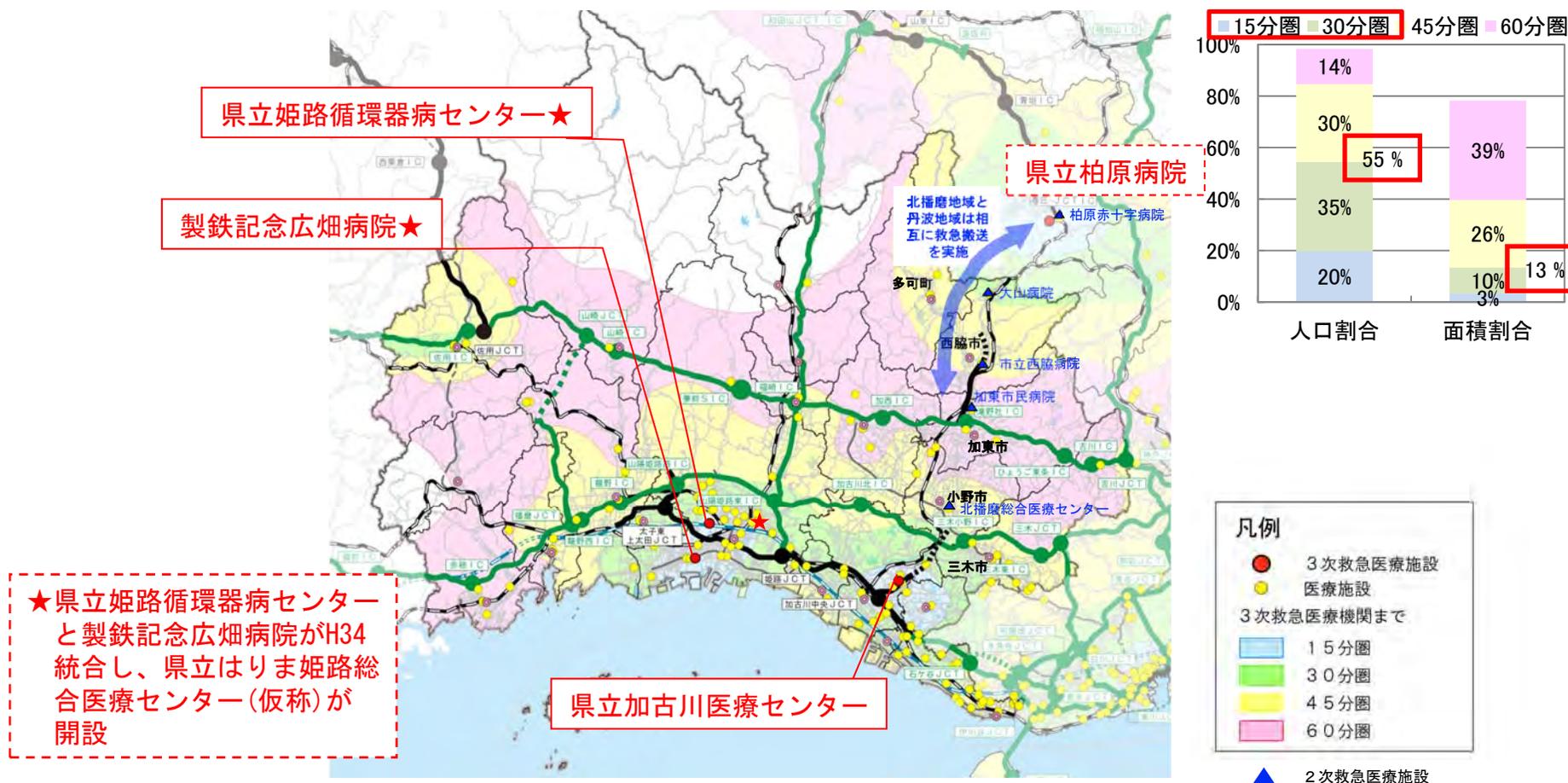
## (2) 現状と課題(医療)

- ◆ 地域内には3つの3次救急医療施設が、臨海部に集中して立地
- ◆ 到達に30分以上かかるエリアが北部・中部・西部で多く存在。60分以上かかるエリアも北部で一部存在
- ◆ 175号沿線では、北播磨地域と丹波地域が相互に救急搬送を実施



相互に救急搬送を実施している丹波地域や、北部など3次救急医療施設まで時間がかかる地域の速達性の強化

### <播磨地域の3次救急医療施設までの等時間圏図>



※平成27年全国道路・街路交通情勢調査の道路網で推計  
距離:実測距離 速度:混雑時平均旅行速度の上り下りで低い速度

### (3) 道路をとりまく状況(整備状況)

- ◆ 播磨地域の基幹道路は東西方向と比較して、南北方向の整備が遅れている

#### S50 (約40年前)

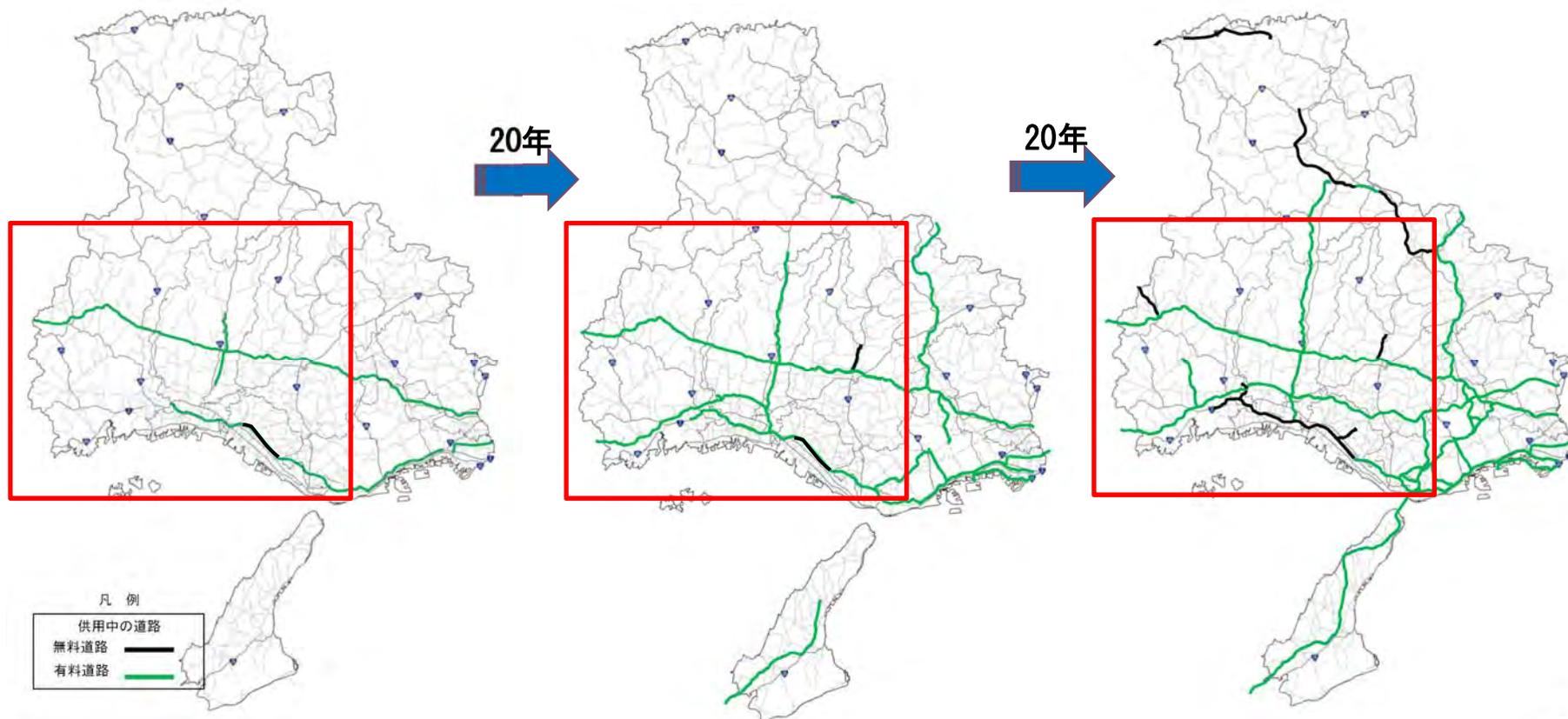
- ・ 中国道、阪高神戸線、第二神明、国道2号BP等の東西ネットワークが整備

#### H7 (約20年前)

- ・ 山陽道姫路以西、舞鶴若狭自動車道等の東西、南北ネットワークの整備が伸展

#### H29 (現在)

- ・ 北近畿豊岡道、山陰近畿自動車道等の県北部のネットワーク整備が伸展

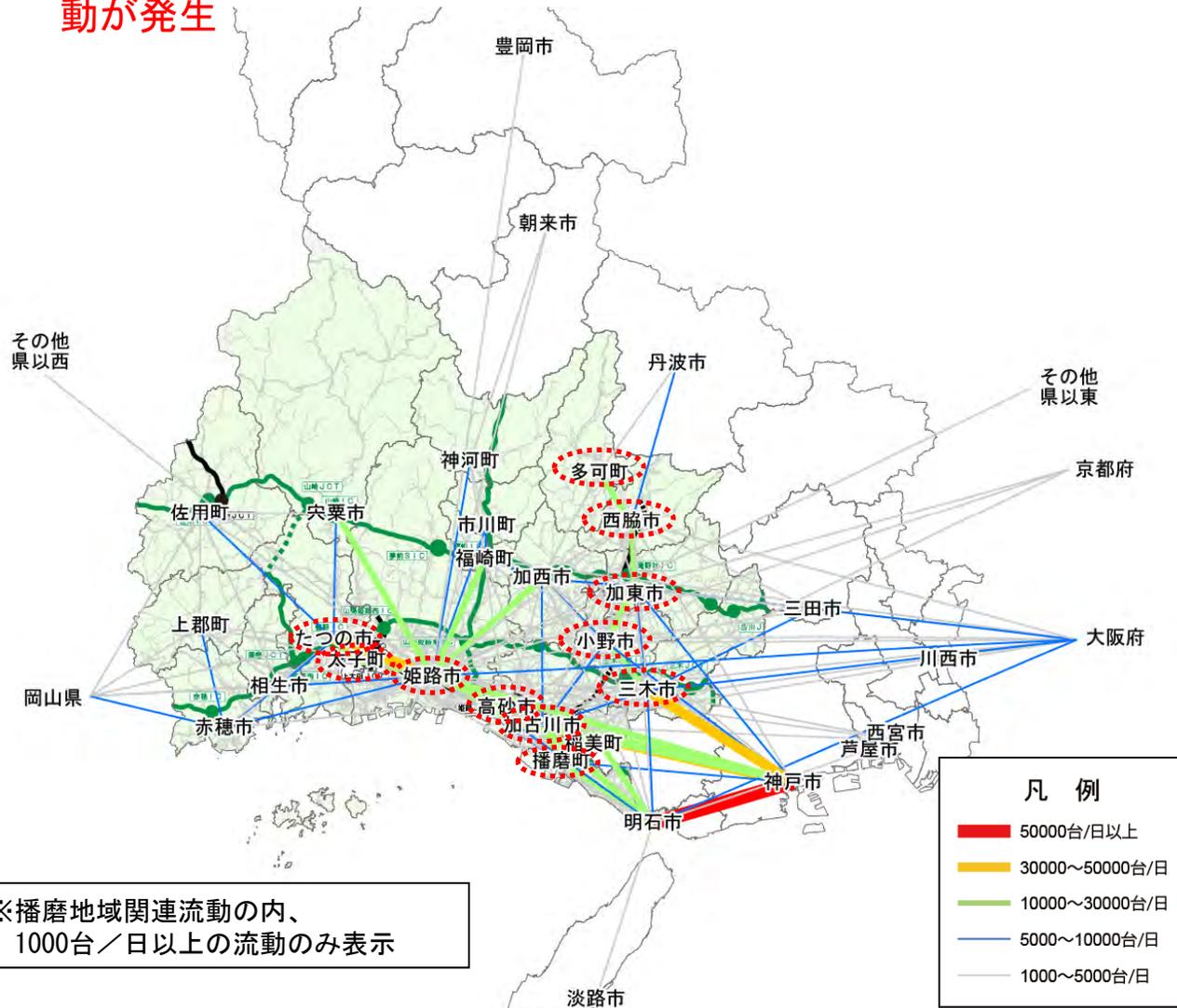


### (3) 道路をとりまく状況(自動車OD流動)

- ◆ 姫路市を中心とした播磨各地域間との放射状の流動がある
- ◆ 姫路市、明石市など、臨海部の各都市間および神戸市との東西流動がある
- ◆ 多可町-西脇市-加東市-小野市-三木市-神戸市という南北流動が発生

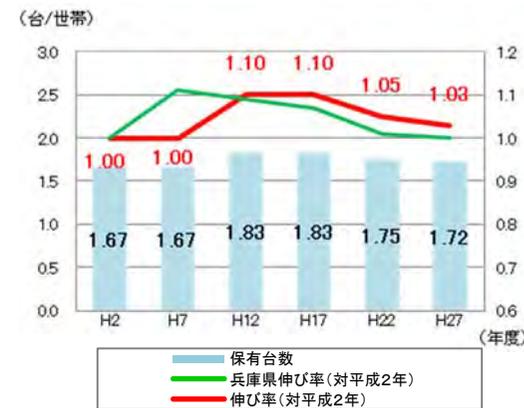


大きな交通流動があるが  
基幹道路がネットワーク化  
されていない区間への対応

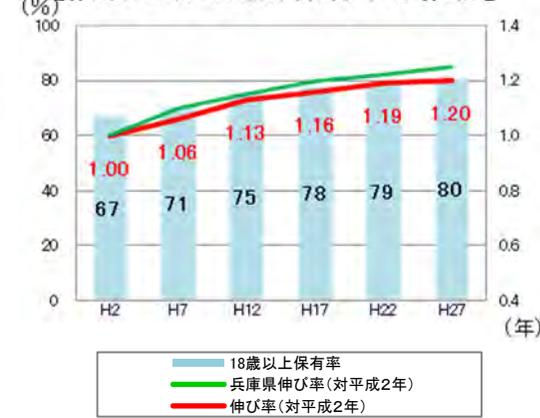


※播磨地域関連流動の内、  
1000台/日以上のみ表示

【播磨地域の自動車保有台数の推移】

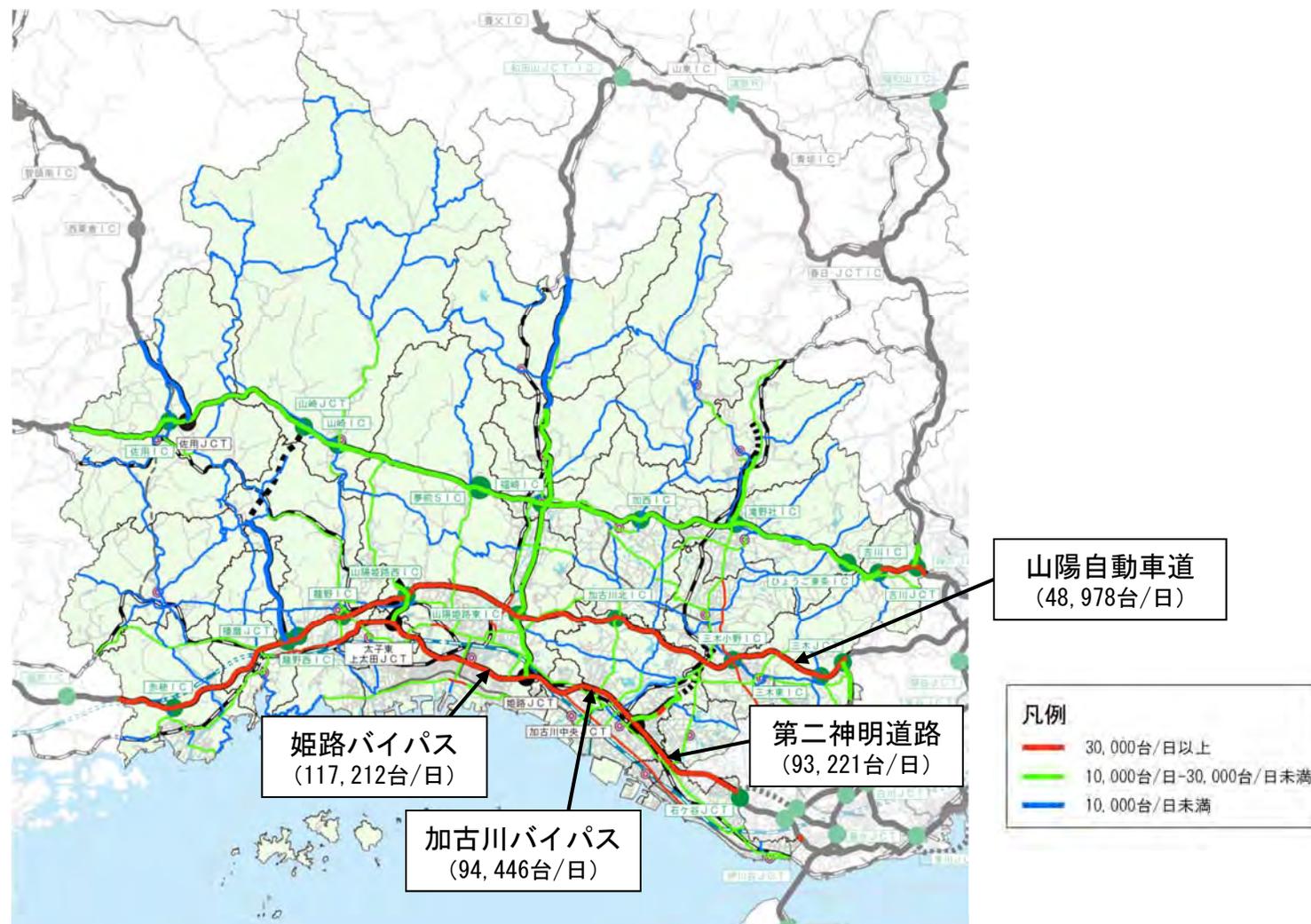


【播磨地域の免許保有率の推移】



### (3) 道路をとりまく状況(交通量)

- ◆ 国道2号姫路バイパスは11万台/日、第二神明道路、国道2号加古川バイパスは9万台を超える交通があり、東西基幹道路の日交通量が多い



### (3) 道路をとりまく状況(大型車混入率)

- ◆ 中国自動車道、山陽自動車道などの基幹道路で、3割を超える大型車が利用
- ◆ 一般道路の一部で大型車が3割を超える区間が存在



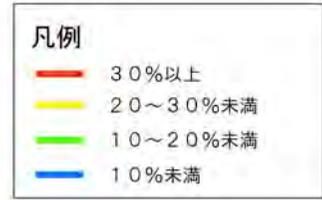
一般道路で大型車混入率が高い区間への対応

**大型車混入率**  
県平均  
主要地方道 : 13%  
国道 : 18%  
高速 : 34%



中国自動車道

山陽自動車道



### (3) 道路をとりまく状況(ピーク時旅行速度)

- ◆ 多くの基幹道路では、60km/h以上の速度が確保されているが、**第二神明道路などで30km/h未満の区間**が存在
- ◆ 一般道路では国道2号、250号など市街地を中心に速度が30km/h未満の区間が存在

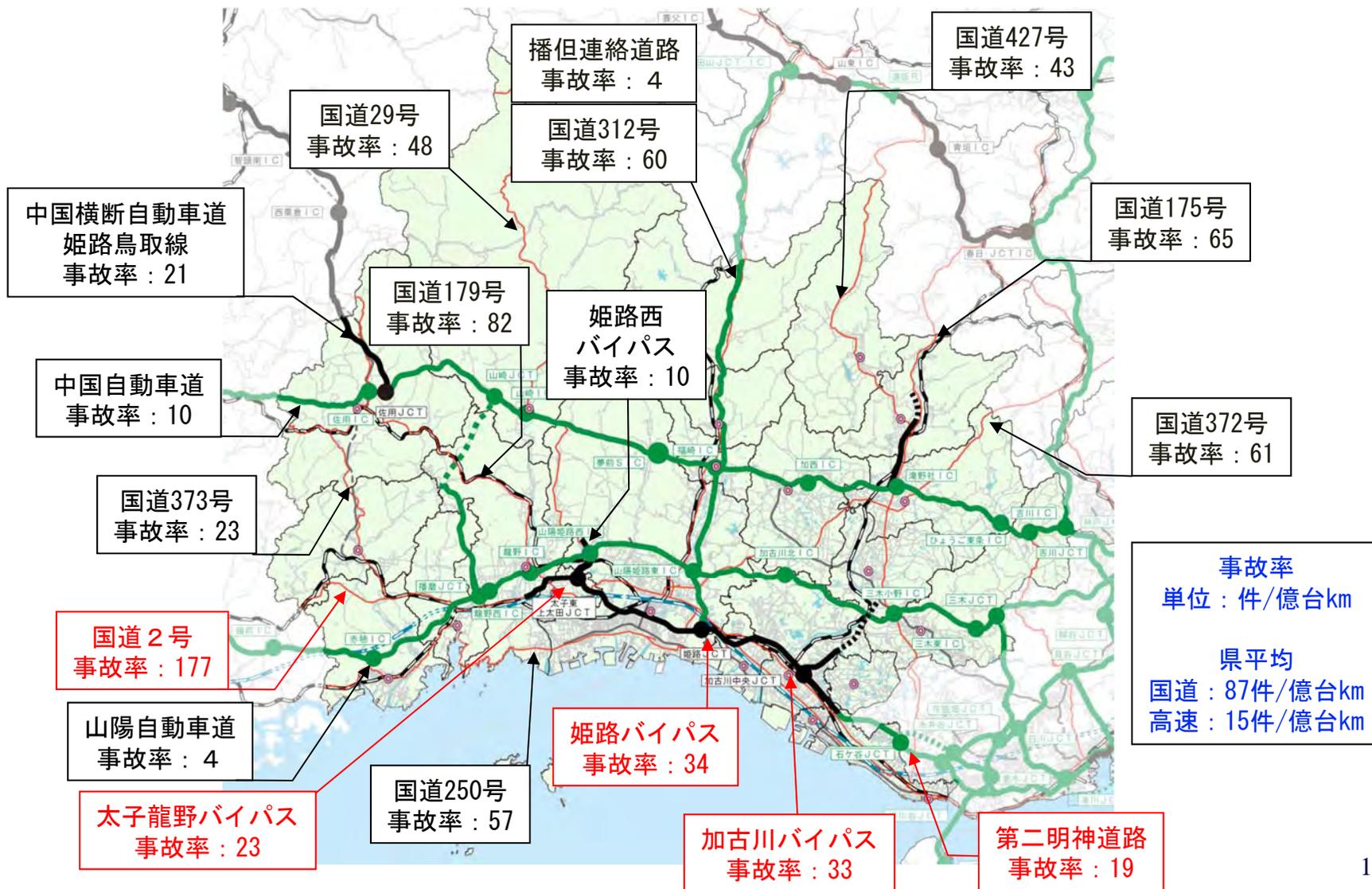


国道2号バイパスや第二神明道路など、**臨海部の東西基幹道路の渋滞緩和**



### (3) 道路をとりまく状況(事故率)

- ◆ 一般道路に比べ基幹道路の事故率は低い。国道2号加古川バイパス、国道2号姫路バイパスは他の基幹道路に比べ相対的に高い  事故率が高い区間への対応



## (4) 播磨地域の課題まとめ

項 目		課 題
地域の課題	人口減少対策	人口減少に備えた定住人口・交流人口対策
	産業活性化	臨海部のものづくり拠点・産業の集積やポテンシャルを活かした産業活性化
	観光振興	周遊性拡大による観光資源を活かした観光振興 ひょうごゴールデンルートなどの広域周遊ルートを活かした観光振興
	災害への備え	東西および南北の幹線道路のリダンダンシー確保
	地域医療の充実	相互に救急搬送を実施している丹波地域や、北部など3次救急医療施設まで時間がかかる地域の速達性の強化
道路の課題	交通需要・渋滞	大きな交通流動があるが基幹道路がネットワーク化されていない区間への対応 国道2号バイパスや第二神明道路など、臨海部の東西基幹道路の渋滞緩和
	安全性	事故率が高い区間、一般道路で大型車混入率が高い区間への対応

## (5) 播磨地域の将来計画

項目	地域の将来像
人口減少対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業資源を活用した雇用の創出や多様な交流活動の支援での地域の魅力向上による<b>交流人口の増加</b>（県地域創生戦略北播磨版）</li> <li>○<b>交通網の充実による生活利便性の向上</b>、地域特有の産業の創出による雇用の確保の促進により若者の流出抑制（県地域創生戦略西播磨版）</li> </ul>
産業活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>播磨科学公園都市</b>において、<b>先端科学施設の集積等の地域特性を活かした企業立地の推進</b>や分譲促進等によりにぎわいを創出する。（県地域創生戦略西播磨版）</li> <li>○播磨を支える<b>産業競争力の強化および産業インフラの構築</b>（県地域創生戦略中播磨県民センター版）</li> </ul>
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源を活かした、<b>地域間交流や国際交流の推進</b>（中播磨地域ビジョン）</li> <li>○<b>地域資源同士を連携</b>させることで<b>魅力を創出</b>（県地域創生戦略東播磨版）</li> </ul>
災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全安心社会、災害に強いまちづくりをめざす（西播磨地域ビジョン）</li> </ul>
地域医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療、防災、防犯の取組の強化（北播磨地域ビジョン）</li> </ul>

## (6) 播磨地域の政策目標(案)

地域の課題	道路の課題	将来像	意見聴取
-------	-------	-----	------

項目	政策目標 (案)	基幹道路の 目指すべき姿 (案)
人口減少 対策	○神戸・阪神など県内外各地域との移動 時間の短縮や走行性の向上	⇒播磨～神戸・阪神地 域間のダブルネット ワークの確保や東播 磨道の4車線化によ る走行性の向上  ⇒災害時におけるリダ ンダンシーや医療施 設への速達性確保に 必要なネットワーク の確保  ⇒S I C等の設置によ る基幹道路の機能強 化
産業活性 化	○「播磨臨海地域」や「播磨科学公園都 市」のポテンシャルを活かす、神戸・阪 神方面との物流機能の強化 ○神戸港等との連携強化	
観光振興	○地域の観光資源間の連携やひょうご ゴールデンルートなどの広域周遊ルー トの利便性向上	
災害への 備え	○山崎断層による地震等の大規模自然災 害に備えた着実な対策	
地域医療 の充実	○3次救急医療施設への速達性の確保	

# (7) 播磨地域の基幹道路の目指すべき姿(案)

- 播磨～神戸・阪神地域間のダブルネットワークの確保や東播磨道の4車線化による走行性の向上
- 災害時におけるリダンダンシーや医療施設への速達性確保に必要なネットワークの確保
- SIC等の設置による基幹道路の機能強化

